

<p>○事業名 講演「こくごのじかん」</p>
<p>○実施団体名 能田徳若万歳保存会</p>
<p>○事業の目的 市民共有の財産である無形文化財「能田徳若万歳」の周知と継承</p>
<p>○事業の概略（いつ、どこで、誰のために、何を どのように行ったか簡潔に） 平成 29 年 6 月 11 日北名古屋市総合体育館で、無形文化財の所有者である北名古屋市民と市外のお客様に万歳の説明と実演を行った。</p>
<p>○事業の効果・成果（事業をやってよかったこと） 周知の面でおおいに効果があり、複数のお声掛けをいただき実績につながったものもありました。（年末のスターキャット出演など）</p>
<p>○事業を実施しての問題点（事業をやってうまくいかなかったこと） 新保存会員の獲得にはいたらなかった。</p>
<p>○事業の課題・今後の展望（改善すべきこと、これからやりたいこと） もっと市民になじみのある形、郷土史をまじえた万歳の説明会を行いたい。また、地元の小中学校の教育などにも関わっていければと思う。</p>
<p>○審査員評価 イベント・DVD 上映会・パンフ配布と積極的に情報発信しているところは良い。</p>
<p>○アドバイス・期待する点 会員を一種類でなく、多角的な関わりができるように複種類設けてはどうか。「カッコいい」と思ってもらえる場をつくる意味で、若い人が集まる場所へ出張していくとか、公に習い事として通える講習会を開いてはどうでしょう。後継者の課題をどう解決するか。違う種類、趣旨による補助を確立する必要がある。各種財団、基金を活用することを経験してほしい。</p>